

高山陣屋管理事務所 作成

平成 29 年度  
高山陣屋要覧

# 目 次

1. 事務所の概要
2. 事務所の沿革
3. 入場者の推移
4. 一般公開後の入場者数の推移
5. 主な行事実績
6. 特別展示について

1. 事務所の概要

(1) 名称

高山陣屋管理事務所

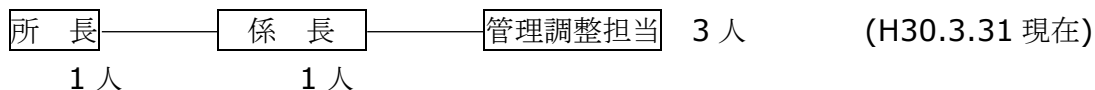
(2) 設置場所

高山陣屋管理事務所 高山市八軒町1-5

(3) 所掌事務

- 1 所内の庶務に関すること。
- 2 経理並びに現金・証券及び物品の出納保管に関すること。
- 3 職員の給与及び旅費に関すること。
- 4 職員の福利厚生に関すること。
- 5 高山陣屋の公開に関すること。
- 6 公開施設の入場料の徴収並びに案内及び解説に関すること。
- 7 公開施設・展示品の維持管理に関すること。

(4) 組織



その他                      24人

学芸業務専門職                      2

説明業務専門職                      6

管理業務専門職                      5

警備業務専門職                      6

雇員                      5

(人)

職 区 分	現 員 数	備 考
事 務 職 員	4	
技 能 職 員	1	営繕手
小 計	5	
非常勤専門職員	19	
雇 員	5	
小 計	24	
合 計	29	

## 2. 事務所の沿革

### 概要

高山陣屋は、徳川幕府の直轄領（幕領）であった元禄 5 年（西暦 1692 年）から慶応 4 年（西暦 1868 年）までの 177 年間、飛騨の国に派遣された 25 代の代官、郡代が統治政務を行った。全国に 66 か所あったといわれる陣屋の中で、まとまった建物が残されているのは、唯一高山陣屋だけである。

昭和 44 年に飛騨県事務所が移転したことにより、270 年余り続いた役所の幕が閉じられたが、昭和 45 年から復元整備がなされ、平成 8 年 3 月には代官・郡代の役宅が復元されたことにより、江戸幕府の高山陣屋の姿がほぼ蘇った。

#### (1) 国史跡指定の概要

昭和 4 年 12 月 17 日

3935.06m<sup>2</sup> 旧史跡名勝天然記念物保存法（飛騨県事務所跡地、県信連跡地購入分）

昭和 54 年 10 月 2 日

53.09m<sup>2</sup> 文化財保護法（民地購入分）

昭和 55 年 3 月 24 日

4860.25m<sup>2</sup> 文化財保護法（旧岐阜地方裁判所高山支部跡地、岐阜地方検察庁高山支部跡地、高山市所有陣屋前広場、水路敷）

平成元年 1 月 9 日

2370.65m<sup>2</sup> 文化財保護法（旧高山市拘置支所跡地購入分）

#### (2) 高山陣屋復元整備の状況

##### 第 1 次復元整備事業

昭和 45 年 10 月 ～ 昭和 49 年 3 月（4 年間）

総事業費 158,225 千円

事業の概要 (1) 土地購入 1,515m<sup>2</sup> (2) 御役所復元工事 (3) 御蔵復元工事  
(4) 土蔵復元工事 (5) 塀及び排水復元工事  
(6) 表御門及び門番所 (7) 庭園復元工事  
(8) 蔵番長屋(管理棟)復元工事 (9) 外柵工事  
(10) 陣屋広場整備工事 (11) 電気設備・防災設備工事

##### 第 2 次復元整備工事

昭和 54 年 3 月 ～ 昭和 58 年 11 月（5 年間）

総事業費 507,803 千円

事業の概要 (1) 土地購入 3,502m<sup>2</sup> (2) 御役所復元工事

- (3) 書物蔵、供待所及び北門（不浄門）復元工事
- (4) 北、南屋根板塀及び大溝復元工事
- (5) 御役所北側、同中門内構工事及び庭園植栽工事

### 第3次復元整備工事

平成元年3月 ～ 平成8年3月（7年間）

総事業費 **1,264,044** 千円

- 事業の概要
- (1) 土地購入 2,371m<sup>2</sup> (2) 発掘調査
  - (3) 蔵番長屋復元工事（平成4年3月完成）
  - (4) 郡代役宅復元工事（平成8年3月完成）
  - (5) 郡代役宅周辺整備工事（塀・ポンプ小屋等）

### 3. 入場者の推移

高山陣屋は観光都市高山において、入場者が多い代表的施設の一つになっている。長引く不況の影響及び旅行形態の変化等により、平成3年度の576,225人をピークに近年は30万人前後の入場者となっている。

- ・平成20年度 平成19年度に高山がフランスの旅行ガイド「ミシュラン」において「日本で必ず訪れるべき町」として最高位の3つ星にランクされ欧米系の入場者数が増加し、対前年比4.7%増
- ・平成21年度 インフルエンザの発生及び長引く不況により、対前年比6.5%減少
- ・平成22年度 長引く不況により観光客の減少により入場者数も減少、3月11日の東日本大震災によりさらに減少、対前年比6.5%減
- ・平成23年度 東日本大震災の影響を受け、入場者数は大幅に減少、対前年比15.7%減少
- ・平成24年度 入場者数は対前年比3.9%の増加であったが、外国人入場者数は38,743人となり、対前年比95.5%と大きく増加
- ・平成25年度 入場者数は対前年比3.2%の増加で、外国人入場者数は54,460人で、対前年比40.5%の増加となった。
- ・平成26年度 入場者数は対前年比11.5%の増加で、震災以前の水準を超えた。外国人入場者数は77,962人で、対前年比34.3%の増加となった。
- ・平成27年度 入場者数は対前年比16.3%の増加で、6年ぶりに30万人を超えた。外国人入場者数は99,646人で、対前年比27.8%の増加となった。
- ・平成28年度 入場者数は対前年比1.2%の増加で、14年ぶりに35万人を超えた。外国人入場者数は111,501人で、対前年比11.9%の増加となった。
- ・平成29年度 日本人観光客の減少により、入場者数は対前年比5.1%の減少であった。外国人入場者数は117,196人で、対前年比5.1%の増加となった。

高山陣屋の入場者数は、平成29年度は政府が進めるインバウンド政策の順調な推移等による外国人観光客の増加により3年連続で30万人を超えましたが、日本人観光客の減少や下半期の天候不順により、日本人入場者数は9.9%減少しました。高山陣屋では、これからも全国及び海外から訪れる多くの方に親しんでいただけるよう、広く公開していきます。

4. 一般公開後の入場者数の推移

年 度	有 料	無 料	入場者 合 計	対 前 年 比			有料入場者	入場者	管理者
	入場者数	入場者数		有 料	無 料	合 計	累 計	累 計	
	人	人	人	%	%	%	人	人	
昭和 49 ～平成 4	8,850,698	84,607	8,935,305				8,850,698	8,935,305	～54 高山市 55～ 岐阜県
平成 5	443,597	47,492	491,089	—	—	—	9,294,295	9,426,394	岐阜県
平成 6	418,243	54,707	472,950	94.3	115.2	96.3	9,712,538	9,899,344	岐阜県
平成 7	397,284	59,554	456,838	95.0	108.9	96.6	10,109,822	10,356,182	〃
平成 8	384,704	66,273	450,977	96.8	111.3	98.7	10,494,526	10,807,159	〃
平成 9	355,971	52,339	408,310	92.5	79.0	90.5	10,850,497	11,215,469	〃
平成 10	379,259	57,122	436,381	106.5	109.1	106.9	11,229,756	11,651,850	〃
平成 11	347,652	50,363	398,015	91.7	88.2	91.2	11,577,408	12,049,865	〃
平成 12	341,064	54,566	395,630	98.1	108.3	99.4	11,918,472	12,445,495	〃
平成 13	330,037	51,299	381,336	96.8	94.0	96.4	12,248,509	12,826,831	〃
平成 14	343,622	50,266	393,888	104.1	98.0	103.3	12,592,131	13,220,719	〃
平成 15	288,020	49,480	337,500	83.8	98.4	85.7	12,880,151	13,558,219	〃
平成 16	245,465	42,443	287,908	85.2	85.8	85.3	13,125,616	13,846,127	〃
平成 17	262,067	39,571	301,638	106.8	93.2	104.8	13,387,683	14,147,765	〃
平成 18	256,733	47,556	304,289	98.0	120.2	100.9	13,644,416	14,452,054	〃
平成 19	280,833	43,691	324,524	109.4	91.9	106.6	13,925,249	14,776,578	〃
平成 20	294,346	45,369	339,715	104.8	103.8	104.7	14,219,595	15,116,293	〃

平成 21	267,479	50,235	317,714	90.9	110.7	93.5	14,487,074	15,434,007	〃
平成 22	251,762	43,956	295,718	94.1	87.5	93.1	14,738,836	15,729,725	〃
平成 23	202,943	46,399	249,342	80.6	105.6	84.3	14,941,779	15,979,067	〃
平成 24	217,077	41,942	259,019	107.0	90.4	103.9	15,158,856	16,238,086	〃
平成 25	220,334	46,888	267,222	101.5	111.8	103.2	15,379,190	16,505,308	〃
平成 26	244,573	53,510	298,083	111.0	114.1	111.5	15,623,763	16,803,391	〃
平成 27	289,613	56,996	346,609	118.4	106.5	116.3	15,913,376	17,150,000	〃
平成 28	290,488	60,136	350,624	100.3	105.5	101.1	16,203,864	17,500,624	〃
平成 29	276,294	56,289	332,583	95.1	93.6	94.9	16,480,158	17,833,207	〃

◎入 場 料 平成 4 年度(11.1～) ・個人 〃 円 ・団体 (30 名以上) 〃 円 ・中学生以下無料  
平成 5 年度～ ・個人 360 円 ・団体 (30 名以上) 310 円 ・ 〃  
平成 8 年度～ ・個人 410 円 ・団体 (30 名以上) 360 円 ・高校生以下無料  
平成 9 年度～ ・個人 420 円 ・団体 (30 名以上) 370 円 ・ 〃  
平成 26 年度～ ・個人 430 円 ・団体 (30 名以上) 380 円 ・ 〃

◎公 開 時 間 3 月から 10 月は 8 時 45 分～17 時 ただし 8 月は 8 時 45 分～18 時  
11 月から 2 月は 8 時 45 分～16 時 30 分

◎休 館 日 12 月 29 日、31 日、1 月 1 日



## 5. 主な行事实績

### (1) 4月1日～3月31日「高山陣屋ギャラリー」

高山陣屋の入場者に観賞していただけるよう、また、開かれた高山陣屋を目指して、施設を「高山陣屋ギャラリー」として提供し、「高山陣屋ギャラリー協力会」による飛騨に関わりのある写真、地域の方による絵画やちぎり絵などを月ごとに展示した。

- 1 場 所 高山陣屋 見学者休憩室ほか
- 2 実施者 飛騨水墨画協会ほか 8 団体

### (2) 4月1日～3月31日「高山陣屋語り部ボランティア」

高山陣屋の入場者に、全国で唯一、主要建物が現存する郡代・代官所である「史跡 高山陣屋跡」を知っていただけるよう、「高山陣屋語り部ボランティアの会」16人が交代で説明案内を行った。

- 1 ボランティア参加者 延べ 289 人
- 2 説明案内 540 回

### (3) 4月1日～3月31日「袴でお出迎え」

高山陣屋の入場者に、江戸時代の風情を感じていただけるよう、職員が当時代官の正装である「袴姿」でお出迎えをした。

実施回数：18回

### (4) 5月13日～10月21日「高山陣屋邦楽演奏会」

高山陣屋の入場者に観賞していただけるよう、施設を演奏会場として提供し、「高山陣屋邦楽協力会」による邦楽演奏会を開催した。

- 1 場 所 高山陣屋 御役所大広間
- 2 実施日 毎月第2、第4日曜日実施
- 3 実施者 澤田流岐阜会ほか 13 団体

### (5) 5月31日「史跡高山陣屋保存整備専門家会議」

岐阜県高山陣屋保存専門家会議4名の構成員により、高山陣屋の保存修理や活用について意見交換を行い今後の運営の資料にした。

### (6) 5月31日「高山陣屋運営懇話会」

学識経験者等10名の構成員により、高山陣屋の保存修理や活用について意見交換を行い今後の運営の資料にした。

### (7) 6月3日～7月1日「高山陣屋おもしろ歴史教室」

「歴史を楽しく、おもしろく勉強しよう」を目標に、くれへぎ（板葺屋根の材料製作）・陣屋ガイドの体験などを通じて、高山陣屋の歴史について学ぶ講座を開催した。

- 1 実施日 6月3日、10日、24日、7月1日
- 2 場所 高山陣屋 ガイダンスルームほか
- 3 参加者 小学4年生から6年生とその保護者 36人

(8) 5月27日「ブラ高山 陣屋町高山で街歩き」

絵図史料や古写真などを参照しながら、城下町から再編された「高山陣屋」をブラブラ街歩きして、街角にのこる歴史の痕跡を探索した。

参加者 28人

(9) 8月22日「高山陣屋歴史教室の夕べ」

夜の高山陣屋において、参加者が行灯の灯りのもとで江戸時代の夜を体験、当所研究アドバイザーにより、高山陣屋第20代郡代豊田藤之進の書き残した「飛驒呈書」にみられる江戸時代の「教育（躰）及び和算」について紹介した。

参加者 46人

## 6. 特別展示について

平成29年度 特別展 「高山陣屋の「表」と「奥」」  
(高山陣屋改築200年記念)

高山陣屋の中心にある玄関や役所などは、文化13年（1816）に改築された建物が現存している。改築から200年が経過したのを記念し、高山陣屋の「表」と「奥」と題して建物をテーマとした特別展を開催した。

一般に江戸時代の武家の住まいは、当主の執務空間である「表」と家族の居住空間である「奥」とに区別できる。高山陣屋の建物や部屋の変遷をたどりつつ、部屋の機能や役人たちの執務空間などについて、「表」「奥」の切り口から実態解明を図った。

現在の高山陣屋は平成8年まで3次にわたる整備事業を経て、江戸時代の姿が復元されている。ただし、この姿は長い幕領時代の、ある一時期の状況を復元しているに過ぎない。実際には、度重なる改修・改築によって手を加えながら、建物が維持されてきた。その変遷を読み取ることができる図面を紹介した。

■開催期間：平成29年10月7日（土）～平成30年3月31日（土）

■会場：高山陣屋 9番蔵

■趣旨：高山陣屋の玄関から役所にかけての主要部分は、文化13年（1816）に改築されており、平成28年でちょうど200年が経過した。そこで高山陣屋の建物をテーマとしつつ、間取りや構造といったハード面だけではなく、各部屋がどのように機能

していたか、役人たちがどのように利用していたかという、ソフト面も調査研究を図り、江戸時代における高山陣屋の実態解明を進める。

- 内容 (1) 高山陣屋における建物の変遷
  - (2) 図面と史料にみる高山陣屋の「表」と「奥」
  - (3) 畳の表替え史料からみた部屋の格式
  - (4) 高山陣屋建物に関するコラム
    - ①玄関大床の「青海波」
    - ②釘隠しの意匠「真向兔」のルーツ
    - ③国内最古・最大級の米蔵「御蔵」
    - ④部屋の名称を調べる
    - ⑤大広間での郡代目通り
    - ⑥郡代の出勤
    - ⑦勤務する人々

■冊子作成 500冊

### 平成 30 年度予定

飛騨の近代化をささえた産業—蚕と糸—

(高山陣屋 特別展 明治 150 年記念関連事業)

■開催期間：平成 30 年 10 月 6 日（土）～平成 31 年 3 月 31 日（日）

■会場：高山陣屋 9 番蔵（高山市八軒町 1-5）

■趣旨：山国飛騨では、古くから養蚕が行なわれてきた。当初その多くは真綿から紬を織ったものだったが、江戸時代以降、生糸の品質向上と製糸技術の改良に力をそそぎ、明治に至るころには、その規模は飛騨の総輸出高の 7 割に達して国内第一の産業となるまでに発展した。

本年は明治 150 年という節目の年にあたり、飛騨の主要産業であった蚕糸業をテーマに、江戸から明治に至る近代化の流れを探る。養蚕・製糸に関わる施策を軸に、蚕の国・飛騨を紹介する。

- 内容（予定）：(1) 飛騨の蚕糸業
  - ・ 蚕種
  - ・ 蚕糸業の流れ
  - ・ 真綿
  - ・ 飛騨紬
- (2) 江戸～明治の養蚕・製糸の歴史
  - ①江戸時代
    - ・ 糸問屋設置

- ・飛驒糸の品質低下
- ・地種の改良と増産

## ②明治時代

- ・新時代の到来
- ・器械製糸の導入
- ・養蚕製糸の指導と人材育成

## (3) 養蚕・製糸道具

- ・糸挽き方の変遷
- ・養蚕製糸の道具

(座操機・撚車・真綿枠・衣襲明神掛け軸)